



平成19年11月15日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

「平成20年3月期 中間決算」のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成20年3月期 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績

- 生命保険会社3社合算の契約業績（個人保険・個人年金保険）は、
 新契約高は、3兆2,136億円、前年同期から7.4%の減少、
 解約失効高は、2兆5,659億円、前年同期から3.3%の減少
 保有契約高は、5.9兆7,191億円、前年同期末から0.9%（前年度末から0.3%）の減少
 となりました。

損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、1兆1,384億円、前年同期から2.5%の増加となりました。
- 経常利益は、1,007億円、前年同期から21.0%の増加、
 中間純利益は、330億円、前年同期から18.9%の増加となりました。

以上

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	関山	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報部	長嶺	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	古谷	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	稲生	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比
新契約高	32,136	7.4%減	7,240	38.5%減	24,257	8.3%増	639	18.2%増
解約失効高 (解約失効率)	25,659	3.3%減	6,935 (3.93%)	7.5%減 0.33ポイント低下	17,831 (4.49%)	1.0%増 0.08ポイント上昇	892 (3.54%)	35.7%減 1.67ポイント低下
保有契約高	597,191	0.9%減	173,670	2.2%減	399,066	0.2%減	24,455	3.3%減
新契約年換算保険料	627	6.5%減	164	12.5%減	375	10.7%減	87	39.8%増
うち医療保障・ 生前給付保障等	67	23.9%減	46	32.4%減	20	7.1%増	—	100.0%減
保有契約年換算保険料	14,395	0.6%減	6,493	4.5%減	6,919	0.3%増	982	26.0%増
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,756	1.6%減	1,114	0.1%減	578	3.3%減	63	10.8%減

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

2. 解約失効率は、年換算しておりません。

3. 保有契約高の前年度末比は、3社合算が0.3%減、太陽生命が1.6%減、大同生命が0.4%増、T&Dフィナンシャル生命が3.1%減です。

< 3社単純合算 >

- ・新契約高は、3兆2,136億円、前年同期から7.4%減少しました。
- ・解約失効高は、2兆5,659億円、前年同期から3.3%減少しました。
- ・保有契約高は、59兆7,191億円となり、前年同期から0.9%減少しました。

○太陽生命

- ・新契約高は、主力の終身保険が低調だったため、7,240億円、前年同期から38.5%の減少。
- ・解約失効高は、6,935億円、前年同期から7.5%の減少。
解約失効率は、3.93%、前年同期から0.33ポイントの低下。
- ・保有契約高は、17兆3,670億円、前年同期から3,822億円、2.2%の減少
(前年度末からは1.6%の減少)。
うち個人保険の保有契約高は、13兆6,017億円、前年同期から1.7%の減少
(前年度末からは1.6%の減少)。
- ・保有契約年換算保険料は6,493億円、前年同期から4.5%の減少。
うち医療保障・生前給付保障等は、1,114億円、前年同期から0.1%の減少。

○大同生命

- ・新契約高は、主力の個人定期保険が好調に推移し、2兆4,257億円、前年同期から8.3%の増加。
- ・解約失効高は、1兆7,831億円、前年同期から1.0%の増加。
解約失効率は、4.49%、前年同期から0.08ポイントの上昇。
- ・保有契約高は、39兆9,066億円、前年同期から834億円、0.2%の減少、
ただし、前年度末からは0.4%の増加。
うち主力の個人定期保険の保有契約高は、36兆991億円、0.3%の増加(前年度末からは0.8%の増加)。
- ・保有契約年換算保険料は6,919億円、前年同期から0.3%の増加。
うち医療保障・生前給付保障等は、578億円、前年同期から3.3%の減少。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・新契約高は、639億円、前年同期から98億円、18.2%の増加。
- ・解約失効高は、892億円、前年同期から35.7%の減少。
解約失効率は、3.54%、前年同期から1.67ポイントの低下。
- ・保有契約高は、2兆4,455億円、前年同期から837億円、3.3%の減少(前年度末からは3.1%の減少)。
ただし、主力の変額個人年金保険の保有契約高は、6,669億円、前年同期から1,744億円、35.4%
の増加(前年度末からは7.3%の増加)。
- ・保有契約年換算保険料は982億円、前年同期から26.0%の増加。

〔損益関係〕

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当中間連結 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比
経常収益	11,384	2.5%増	5,051	2.6%減	5,707	8.8%増	977	7.0%増
うち保険料等収入	8,379	4.9%減	3,303	9.1%減	4,195	2.9%減	880	2.9%増
うち資産運用収益	2,172	10.9%増	1,089	6.4%減	1,068	34.7%増	49	89.9%増
経常費用	10,377	1.0%増	4,699	1.9%減	5,012	6.6%増	1,027	4.8%増
うち保険金等支払金	8,346	2.3%増	3,767	2.5%減	4,078	7.0%増	500	4.5%増
うち資産運用費用	625	13.7%減	356	2.8%増	279	9.6%増	2	98.2%減
経常利益(△損失)	1,007	21.0%増	352	11.4%減	694	28.5%増	△50	26.0%減
特別利益	53	1,045.5%増	2	379.4%増	50	971.5%増	—	100.0%減
特別損失	169	16.0%増	107	115.5%増	62	30.2%減	0	98.8%減
契約者配当準備金繰入額	256	24.4%増	69	3.9%減	185	46.1%増	1	80.8%減
税引前中間純利益(△損失)	634	31.0%増	177	35.5%減	497	51.1%増	△51	38.3%減
法人税及び住民税等	303	47.3%増	79	23.7%減	227	69.3%増	△15	38.2%減
中間純利益(△損失)	330	18.9%増	98	42.7%減	270	38.5%増	△36	38.3%減

- (注) 1. 法人税及び住民税等は、法人税等調整額を含んでおります。
2. 保険料等収入の3社単純合算は8,379億円です。

＜T&Dホールディングス連結＞

- ・ 経常収益は、1兆1,384億円、前年同期から2.5%増加しました。
- ・ 経常利益は、主に利息及び配当金等収入の増加により、1,007億円、前年同期から21.0%増加しました。
- ・ 中間純利益は、330億円、前年同期から18.9%増加しました。

○太陽生命

- ・ 保険料等収入は、主に団体年金保険の保険料の減少により、3,303億円、前年同期から9.1%の減少。
- ・ 資産運用収益は、主に有価証券売却益の減少により、1,089億円、前年同期から6.4%の減少。
- ・ 保険金等支払金は、主に満期による保険金支払の減少により、3,767億円、前年同期から2.5%の減少。
- ・ 資産運用費用は、356億円、前年同期から2.8%の増加。
- ・ 経常利益は、352億円、前年同期から11.4%の減少。
- ・ 特別損失は、主に価格変動準備金繰入額の増加により、107億円、前年同期から115.5%の増加。
- ・ 中間純利益は、98億円、前年同期から42.7%の減少。

○大同生命

- ・ 保険料等収入は、4,195億円、前年同期から2.9%の減少。
ただし、主力の個人定期保険の収入保険料は、2,764億円、前年同期から1.3%の増加。
- ・ 資産運用収益は、主に利息および配当金等収入の増加により、1,068億円、前年同期から34.7%の増加。
- ・ 保険金等支払金は、主に個人保険の解約返戻金の増加により、4,078億円、前年同期から7.0%の増加。
- ・ 資産運用費用は、主に有価証券評価損の増加により、279億円、前年同期から9.6%の増加。
- ・ 経常利益は、主に資産運用収益の増加により、694億円、前年同期から28.5%の増加。
- ・ 特別利益は、主に固定資産等処分益の増加により、50億円、前年同期から971.5%の増加。
- ・ 中間純利益は、270億円、前年同期から38.5%の増加。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・ 保険料等収入は、主に変額個人年金保険の新契約増加により、880億円、前年同期から2.9%の増加。
- ・ 資産運用収益は、49億円、前年同期から89.9%の増加、
資産運用費用は、2億円、前年同期から98.2%の減少。
これは主に特別勘定資産運用損益が、前年のマイナスからプラスに転じたため。
- ・ 保険金等支払金は、500億円、前年同期から4.5%の増加。
- ・ 経常損失は、50億円、前年同期から17億円の損失縮小。
- ・ 中間純損失は、36億円、前年同期から22億円の損失縮小。

【その他の指標等】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比	当中間 会計期間	前年同期比
基礎利益	945	12.2%増	305	10.2%増	673	12.8%増	△33	3.9%増
逆ざや額			65	61減	－(注)	－	19	0減

(注) 大同生命は110億円の順ざやとなっております。

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当中間 会計期間末	前年度末 比較増減	当中間 会計期間末	前年度末 比較増減	当中間 会計期間末	前年度末 比較増減	当中間 会計期間末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,153.9%	53.5ポイント上昇	1,265.6%	54.8ポイント低下	1,091.7%	112.0ポイント低下
実質純資産	20,021	55減	8,933	586増	10,447	647減	641	6増
有価証券差損益(一般勘定)	9,979	474減	5,479	482増	4,509	954減	△9	1減
うち公社債	234	24減	118	36増	125	61減	△10	0増
うち株式	6,434	308減	4,486	229増	1,947	537減	－	－
うち外国証券	870	233増	824	286増	46	51減	△0	0減
うちその他の証券	2,200	324減	55	73減	2,144	249減	0	1減
うち金銭の信託	237	59減	－	－	237	59減	－	－
土地等の差損益	279	8減	129	12増	150	21減	－	－

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。また、金銭の信託内で保有する有価証券のうち、売買目的有価証券以外のものの差損益を含めて記載しています。

2. 土地等の差損益については、太陽生命は鑑定評価額および公示価格等、大同生命は原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格)をもとに算出しています。

3. EV計算上の修正純資産は、3社合算が1兆3,037億円(前年度末比48億円増)、太陽生命が5,941億円(同393億円増)、大同生命が6,693億円(同326億円減)、T&Dフィナンシャル生命が402億円(同18億円減)です。なお、修正純資産は、以下の算式により計算しております。

修正純資産＝純資産の部計(評価・換算差額等を除く)＋負債中の内部留保(価格変動準備金、危険準備金、配当準備金中の未割当額)＋一般貸倒引当金(税引後)＋有価証券等(円建債券を除く、デリバティブ取引を含む)の含み損益(税引後)＋土地の含み損益(税引後)－負債中の内部留保に係る税効果額

＜3社単純合算＞

- ・基礎利益は、945億円となり、前年同期から12.2%増加しました。
- ・実質純資産は、2兆21億円となり、前年度末から55億円減少しました。
- ・有価証券差損益は、9,979億円となり、前年度末から474億円減少しました。

○太陽生命

- ・基礎利益は、305億円、前年同期から10.2%の増加。
逆ざや額は、65億円、前年同期から61億円の減少。
これらは主に、利息及び配当金等収入が増加したため。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,153.9%、前年度末から53.5ポイントの上昇。
実質純資産は、8,933億円、前年度末から586億円の増加。
有価証券差損益は、5,479億円、前年度末から482億円の増加。
これらは主に、保有内外株式の時価上昇によるもの。

○大同生命

- ・基礎利益は、673億円、前年同期から12.8%の増加。
逆ざや額は、前年同期の52億円の逆ざやから162億円改善し、110億円の順ざや。
これらは主に、利息及び配当金等収入が増加したため。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,265.6%、前年度末から54.8ポイントの低下。
実質純資産は、1兆447億円、前年度末から647億円の減少。
有価証券差損益は、4,509億円、前年度末から954億円の減少。
これらは主に、国内株式の時価下落によるもの。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・基礎利益は、△33億円、前年同期とほぼ同水準。
逆ざや額は、19億円、前年同期とほぼ同水準。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、主に最低保証リスク相当額の増加により、1,091.7%、前年度末から112.0ポイントの低下。
実質純資産は、641億円、前年度末から6億円の増加。
有価証券差損益は、△9億円。

[平成20年3月期通期業績予想]

平成19年5月17日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	平成19年3月期実績	平成20年3月期予想	増減率 (%)
経常収益	22,860	21,800	4.6%減
経常利益	1,581	1,300	17.8%減
当期純利益	387	370	4.6%減

1株当たり年間配当金予想は65円です。

(参考) 生命保険会社3社(単体)の通期業績予想

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,000 (11.1%減)	9,900 (6.8%減)	3,500 (31.5%増)
経常利益(△損失)	520 (0.7%増)	930 (23.3%減)	△200 (47.8%増)
当期純利益(△損失)	120 (10.6%減)	370 (14.3%減)	△140 (30.6%増)

(注) 括弧内は平成19年3月期からの増減率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成20年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,600 (7.7%減)	560 (3.7%増)	1,150 (8.6%減)	△110 (70.4%増)
保険料等収入	16,600 (8.4%減)	6,400 (9.3%減)	8,500 (1.8%減)	1,700 (29.4%減)
逆ざや額		230 (6.7%減)	30 (—)	40 (2.9%減)
新契約高	60,000 (9.6%減)	15,300 (28.1%減)	43,500 (0.5%増)	1,200 (33.2%減)
保有契約高	593,000 (1.0%減)	171,900 (2.6%減)	397,700 (0.1%増)	23,400 (7.3%減)
解約失効率 (%)		8.0 (0.55ポイント低下)	8.5 (0.54ポイント低下)	7.6 (1.51ポイント低下)

(注) 1. 括弧内は平成19年3月期からの増減率です。

2. 新契約高、保有契約高及び解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加を含みます。

3. 大同生命の逆ざや額について、平成18年度は83億円の順ざやとなっております。

4. 当中間期の契約業績を踏まえ、以下の会社において見通しの変更を行っております。

(太陽生命)

新契約高：20,200億円→15,300億円、保有契約高：177,000億円→171,900億円

(T&Dフィナンシャル生命)

保険料等収入：3,400億円→1,700億円、新契約高：2,900億円→1,200億円

保有契約高：25,000億円→23,400億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績見通しと大きく異なることがあります。